

◎一般質問 市政全般の事務の執行状況や今後の方針を問う

早川 喬 俊	「カーボンニュートラルへの対応」
堀内 重 佳	「人口減少・少子化の取組み」
井川 郁 恵	「健康づくりに係る取組み」 「第3次とよかわ健康づくり計画」
松井 俊 満	「人材育成と活用」
深谷 崇 允	「豊川市の体育施設の利用」
鈴木 佳 孝	「スポーツの祭典」
加藤 典 子	「性の多様性に関する理解増進と本市の対応」
林 正 子	「指定避難所におけるペットの同行避難」 「困難な問題を抱える女性への支援」
安間 寛 子	「児童生徒が安全に過ごせる学校施設の整備」 「今後10年の大規模建設事業の見直し」ほか
佐藤 郁 恵	「能登地震を教訓とした南海トラフ等巨大地震に備えた本市の防災対策」ほか
倉橋 英 樹	「公共事業に関わる書類の簡素化及び改善」
八木 月 子	「豊川市における公園の駐車場」
奥澤 和 行	「財政健全化と本市の将来の姿」

3日間
13人の
一般質問

市政を問う！

二次元コードをスマートフォンなどで読み取るか、市議会ホームページの「インターネット議会中継」より、全ての内容を動画で視聴できます。

事業の進捗状況は？

課題は？

今後の見通しは？



①カーボンニュートラル

温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させることを意味する。気候変動問題の解決に向け2015年にパリ協定が採択され、日本含む120以上の国と地域が2050年カーボンニュートラルという目標を掲げている。

②ゼロカーボンシティ

2050年カーボンニュートラルの実現を目指す旨を公表した自治体のこと。

【問】本市の目標は。
【答】国や県の目標に合わせ、市長マニフェスト工程計画に環境基本計画の改定を位置付け、カーボンニュートラルの実現に取り組む。

【問】本市の課題は。
【答】電気自動車普及促進等によるCO2削減が課題。脱炭素化に向けた施策を計画に位置付ける必要がある。

【問】計画策定後に取り組むべき課題は。
【答】公共施設自体の環境性能の向上が難しいため、電力契約の見直しや環境性能の高い家電の導入などを全庁的に展開していく必要がある。公共施設の建て替え時にはZEB化に向けた検討を進める。

【問】ゼロカーボンシティ宣言に対する市長の考えは。
【答】市が旗振り役となる必要がある。計画の見直し方針やロードマップ策定方針を明示し、6年7月中旬には宣言を行いたい。



早川 喬 俊



①
カーボンニュートラルへの対応について

③計画

都市計画マスタープランのこと。市町村の都市計画に関する基本的な方針であり、都市計画法第18条の2に基づき、豊川市では3年3月に策定された。

④小規模特認校制度

市町村が特定の小規模な学校を「特認校」として認定し、従来の通学区域を残したままで、市内のどこからでも保護者や児童生徒が希望する場合は特認校に就学を認める制度。

【問】計画の中間見直しのスケジュールは。
【答】6年度は基礎データの収集や現行計画の評価等を行い、7年度末までに改訂予定。

【問】計画に萩町の住居系の地区計画等を定めるための条件は。
【答】地域全体でまちづくり方針がまとまり、その機運が高まること。



堀内 重 佳



人口減少・少子化の取組みについて

【問】教育委員会定例会で、7年度からの小規模特認校制度の導入に係る議案が可決された。今後の予定は。
【答】萩小学校をはじめ、市内小学校の保護者等に制度実施を周知する。

【問】小中一貫教育導入の考えは。
【答】実現に向けて努める。音羽中学校区における導入についても一定の方向性を示せるよう調査研究を進める。

⑤キャッチアップ接種

ワクチン接種の積極的勧奨の差し控えにより接種機会を逃した方に対して、公平な接種機会を確保するため、改めて公費接種の機会を提供するもの。

HPVワクチンは平成25年4月から定期予防接種となったが、副反応等の報告により、同年6月以降、積極的接種勧奨の差し控えの措置となっていた。国の会議にて、接種の有効性が副反応のリスクを明らかに上回ると認められ、3年11月に差し控えの措置が終了した。

【答】 多様な主体を巻き込んだ健康づくりに配慮し、誰一人取り残さない健康づくりの展開と、より実効性を持つ取り組みを通じた健康寿命の延伸と健康格差の縮小を目指す。



【答】 5年度に山口県宇部市へ不登校支援の研修に行き、校内フリースクールの運営方法の違いを学んだ。研修者の報告を活かし、組織的な体制での指導により生徒理解を深めるべく、6年度にスクールソーシャルワーカーを1名増員した。



【答】 利用者の意見に耳を傾け、利用実態を確認しながら様々な検討を行う中で、見直す場合には、条例改正による対応も考えている。

【問】 糖尿病対策プロジェクトの展望は。
【答】 夏休みに開催する「わくわく元気Labo」をはじめ、対面形式の啓発機会の増加と質の向上に努める。無関心層への働き掛けも大きな課題と捉えている。
【問】 子宮頸がん予防プロジェクトの活動は。
【答】 4年度から6年度までキャッチアップ接種を実施している。公費負担での接種完了には、6年9月中旬に1回目の接種を済ませる必要があるため、講演会や出前講座を実施し、接種への不安軽減に配慮している。
【問】 第3次とよかわ健康づくり計画の策定にあたり配慮していることは。
【答】 多様な主体を巻き込んだ健康づくりに配慮し、誰一人取り残さない健康づくりの展開と、より実効性を持つ取り組みを通じた健康寿命の延伸と健康格差の縮小を目指す。

【問】 民間企業への派遣研修実施の考えは。
【答】 過去に百貨店等への派遣実績はあるが、職員の充足の観点から実施は難しい状況。近隣他市の状況等を見ながら検討していく。
【問】 民間企業等からの職員の受け入れの考えは。
【答】 現在、社会福祉協議会から1名を受け入れているが、民間企業などからの受け入れ実績はない。他市の状況を参考に、目的や受け入れ部署、効果等を検討していきたい。
【問】 教員研修の成果を、報告だけでなく業務に取り入れた例は。
【答】 5年度に山口県宇部市へ不登校支援の研修に行き、校内フリースクールの運営方法の違いを学んだ。研修者の報告を活かし、組織的な体制での指導により生徒理解を深めるべく、6年度にスクールソーシャルワーカーを1名増員した。

【問】 利用者満足度調査における総合体育館、武道館の利用時間についての意見は。
【答】 5年度調査では、時間ごとの利用にしてほしいと意見があった。
【問】 旧町との合併時の利用時間や料金体系の統一に係る方針は。
【答】 ある程度利用者が決まっております、利用実態を崩さないよう配慮するため、各施設のルールを引き継いだ。
【問】 夜間照明設備のない屋外施設には、利用時間が17時までの施設もあるが、時期により延長する考えは。
【答】 17時以降の施設や期間を設けて利用時間を変更している施設もあるため、検討の余地があると考えている。



井川郁恵



健康づくりに係る取り組みと第3次とよかわ健康づくり計画について



松井俊満



人材育成と活用について



深谷崇允



豊川市の体育施設の利用について



スポーツの祭典について



鈴木 木佳孝



【問】BMXレース競技場を建設する考えは。

【答】より多くの地域住民が必要とする施設かどうかの視点が必要。本市の競技人口などを踏まえ、どのような施設が必要か検証するため、様々な競技の状況について情報収集する。

【問】計画に基づくス

【問】市民体育大会の参加校区数が少ない種目に対する対策は。

【答】5年度、各校区にアンケートを実施。2種目は、おおむね半数の校区で変更した方がよいとの意見があった。これを受け種目検討会を立ち上げ、6年度中に方針を決定する。

⑥理解増進法

性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律のこと。5年6月に施行され、性的指向等の多様性に関する国民の理解を増進する上での基本理念を定め、国及び地方公共団体の役割等が明記されている。



【問】4年度に導入したパートナーシップ宣誓制度の状況は。

【答】6年5月末現在、宣誓したパートナーは9組で、県内18の自治体間で連携を開始している。本市の行政サービスを受けた例は、市営住宅の利用申し込みが1件ある。

【問】パートナーシップを宣誓した者の住民票の世帯主との続柄を縁故者とするということについての考えは。

【答】近隣市町等の動向を踏まえ、本市においても縁故者と記載する対応を行う。

【問】ファミリーシップ宣誓制度の検討状況は。

【答】県の制度を参考に、事実婚を含む異性カップルや、子や親を含んだファミリーシップ宣誓制度への拡充の方向で検討を進めており、7月1日の施行を目指す。また、オンライン宣誓が可能となるよう準備を進めていく。

性の多様性に関する理解増進法と本市の対応について



加藤 典子



ペット同行避難と困難な問題を抱える女性への支援について



林 正子



【問】ペット同行避難者の受け入れ体制は。

【答】いずれの避難所でも同行避難が可能。

【問】避難所の課題と解決に向けた取組みは。

【答】さまざまな立場の方の避難が想定され、あらかじめルール化できないことが課題。県内の自治体の対応状況

【問】ペット同行避難や県が募集した企画アイデアなど、情報収集に努めていく。

【問】女性支援新法における本市の役割は。

【答】必要な施策を講ずる責務を有し、女性相談支援員の設置や民間団体との協働などに努めることが規定されている。

⑦女性支援新法

困難な問題を抱える女性への支援に関する法律のこと。「女性の福祉」、「人権の尊重や擁護」、「男女平等」といった視点を明確に規定し、6年4月に施行された。

⑧基本計画

第3次豊川市男女共同参画基本計画のこと。3年3月策定。

⑨行動計画

第2次人権教育・啓発に関する豊川市行動計画のこと。4年3月策定。

【問】女性相談支援員を設置する考えは。

【答】現時点では未定。

【問】基本計画、行動計画で支援体制の整備が掲げられており、早急に実施する必要があると思うが、考えは。

【答】関係課や関係機関と連携して、一体的に検討を進めていく。



大型建設事業は見直し、 学校整備を最優先にする考えは



安間寛子



【問】学校の水道管の劣化で赤水が出る状況がある。改修状況は。

【答】劣化箇所等が特定できた学校は改善が図られたが、全体的な改善には至っていない。

【問】屋内運動場へのエアコン設置について、早急に動く必要があると考えるが、認識は。

【答】3年度末と5年度末の比較で、鉄骨は約7%、生コンクリートは約53%上昇。

【問】愛知御津駅の橋上化、一宮地区公共施設再編事業などの大型建設事業を見直し、小中学校の施設整備を最優先する考えは。

【答】マネIFESTに位置付けた事業は、間違いなく進めていく。



能登地震を教訓とした 防災対策について



佐藤郁恵



【問】体育館へのエアコン設置など、避難所の寒さ対策への考えは。

【答】エアコンは施設管理者が定めた整備計画等により設けるものであり、避難所の指定に当たり、必ずしも必要ないものと認識している。寒さ対策として、非常用持ち出し品の防

寒着、避難所に備蓄された毛布のほか、段ボールなどの有効活用を想定している。

【問】乳幼児や女性などへの配慮が必要だが、避難所運営マニュアルでの考え方は。

【答】男女別の更衣室やトイレ、生理用品の配布方法、防犯対策など、いろいろな立場の意見が反映されるように、避難所運営委員会の構成員には女性を入れることなどをマニュアルに掲載している。

【問】防衛施設の強化対策等の計画における豊川駐屯地の内容は。

【答】市として情報を持ち合わせていない。

⑩ガイド

土木工事電子書類スリム化ガイドのこと。工事書類を簡素化し、書類作成の負担軽減や働き方改革の推進を図ることを目的に、国土交通省の各地方整備局が作成している。中部地方整備局では6年3月に策定された。

⑪要領

豊川市工事書類簡素化要領のこと。受注者が作成・提出等を行う工事関係書類の簡素化により、発注者・受注者相互の業務の効率化を図り、労働条件を改善することを目的に、3年4月に策定された。

公共工事に関わる書類の 簡素化と改善について



倉橋英樹



【問】業者から、理由なく工事の試験を求められ、費用が払われなことがあると伺った。改善すべきではないか。

【答】計画にない試験を行う場合、必要性を受発注者双方で確認することとしている。対等な立場で協議を行うよう周知徹底を図る。

【問】国のガイドには、臨場写真の提出は不要とあるが、市の現状は。

【答】設計図書との適合確認のため、施工途中で言う段階確認では写真の提出等は省略し、完了後に提出いただく。

【問】ガイドの趣旨に則り、臨場写真の提出を省略とする考えは。

【答】国や県のガイドラインなどを参考に、省略を検討していく。

【問】ガイドや市の要領が履行できていない。簡素化徹底の考えは。

【答】要領改正により受注者の負担を軽減し、また、監督職員による提出書類等の差が生じないよう周知徹底する。



豊川市における公園の 駐車場について

八木 月子



【問】都市公園に駐車場を設置する場合の考
え方は。

【答】都市公園法など
には駐車場の設置義務
や規模に関する規定は
ない。公園の種類や目
的などにより、整備を
個別に検討している。

【問】都市公園に駐車
トは。

【答】メリットは、広
域利用者の利便性向上
や、路上駐車抑制に
効果があること。デメ
リットは、無断駐車や
騒音、交通事故の発生
のほか、公園施設の縮
小により、公園本来の
機能や効果が減少する
ことが考えられる。

【問】8年度の豊川稲
荷の午年開帳に合わせ
て稲荷公園の改修を行
う際、駐車場の整備は
検討されるのか。

【答】慎重な判断が必
要だが、地元の意向で
あれば、利用状況や周
辺の環境、地域の実情
などの現況調査を行う
必要があると考える。



財政健全化と本市の 将来の姿について

奥澤 和行



【問】今後の財政運営
について、主な課題は。

【答】人件費及び物価
の高騰による事業費の
増大、それに伴う後年
度の公債費負担の増加
が懸念されること。

【問】将来世代への負
担を残さないための考
えは。

【答】基金の積み立て
による財源確保等を進
め、毎年策定する中期
財政計画で財政状況を
把握し、健全な財政運
営に努めていく。

【問】市の将来の姿に
ついて、市長の考えは。

【答】多くの大型建設
事業等が予定されてい
るが、住民サービスの
継続に必要な事業。収
支の均衡を図り、市民
に不安を与えないよう
職員一丸となって取り
組む。将来の姿は「元
気なとよかわ 子育て
にやさしく 人が集う
まち」と考える。市民
と行政のつながりを一
層強め、もっと元気な
とよかわの実現に向け、
全力で取り組んでいく。

ライブ中継・録画配信を行っています！

一般質問など、本会議の様子は、インターネットでの中継及び配信を行っています。ぜひご利用ください。



※左の二次元コードからアクセス
できます。
通信料は利用者負担です。

市役所ロビー（本庁舎1階）の
モニターでライブ中継を見るこ
ともできます。



豊川市議会 議会中継

会議名一覧

議員名一覧

表示設定

動作環境

令和6年第2回定例会 - 6月13日 中日

発言内容

開議、会議録署名議員の指名、委員会付託、採決議案
(提案説明【第63～71号議案】、質疑、討論、表決)

再生

会議名一覧へ戻る

ここを
クリックして
ください。